

平塚市内で記録された ムギマキなどの鳥類について

浜 口 哲 一

Some records of birds from Hiratsuka City

Tetsuichi HAMAGUCHI

春秋の渡りの時期に、旅鳥として神奈川県を通過していく鳥には、シギ類を中心に多くの種類がある。この時期には、市街地でも珍しい鳥が観察されることが少なくない。筆者は秋期、平塚市内において、県下での観察例の少ない数種類の鳥を記録することができたので報告したい。なお、これらはいずれも何らかの事故で死体が発見されたもので、剥製標本として、平塚市博物館に保存されている。標本の同定、観察記録の提供で御協力いただいた、笹川昭雄氏、堀浩氏、矢田孝氏に感謝したい。

1. ムギマキ *Muscicapa mugimaki*

シベリア東部で繁殖し、東南アジアで越冬する。1973年11月7日、平塚市浅間町において、雄の若鳥1羽の死体を拾得した。筆者の知る限りでは、県下での標本、写真のあるムギマキの確実な記録はここにあげた1例のみである。

登録番号 H C M—50—58。露出嘴峰9mm，翼長75

mm，尾長50mm，跗蹠17mm。

2. マミチャジナイ *Turdus obscurus*

シベリア東部で繁殖し、東南アジアで越冬する。1976年10月26日、平塚市浅間町において雌の死体1羽を拾得した。県下での観察・採集例として、1969年10月21日鎌倉市源氏山で2羽、1970年10月15～21日にかけて逗子市二子山で最高7羽（以上、浜口）、1971年10月24日横浜市磯子区峰町で1羽（矢田孝氏）、1980年10月14日横浜市旭区（野毛山動物園保護）がある。県下では少ない鳥とされているが、10月中下旬に注意すれば、さらに観察例がふえるのではなかろうか。

登録番号 H C M—50—44。露出嘴峰19mm，翼長114mm，尾長72mm，跗蹠30mm。

3. オオヨシゴイ *Ixobrychus eurhythmus*

夏鳥として本州以北に渡来するが、県下での繁殖例は知られていない。1975年10月21日、平塚市中原の水田で、弱っている雌型1羽を中原小学校児童が保護したが、翌日死亡した。

登録番号 H C M—50—46。露出嘴峰41mm，翼長142mm，尾長40mm，跗蹠47mm。

4. ツルクイナ *Gallicrex cinerea*

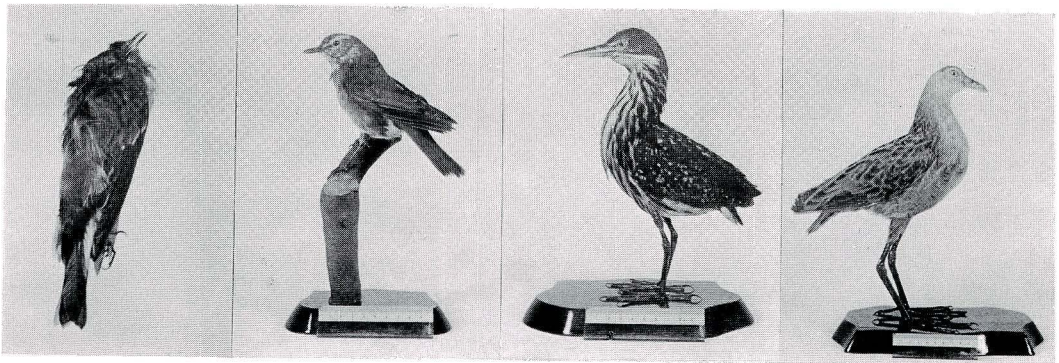
東南アジア・中国・朝鮮などで繁殖し、国内では九州・沖縄で繁殖例がある。1978年10月6日、平塚市東中原において、5階建アパートにぶつかったと思われる雌型1羽の死体を拾得した。

登録番号 H C M—50—37。露出嘴峰44mm，翼長204mm，尾長30mm，跗蹠71mm。

文 献

中村一恵 1974 神奈川県鳥類誌2，神奈川県立博物館1—38

（平塚市博物館）



左より ムギマキ，マミチャジナイ，オオヨシゴイ，ツルクイナ